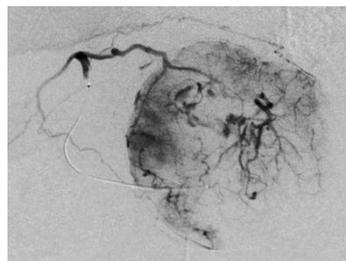


○肝細胞癌に対するカテーテル治療：肝動脈塞栓術について

主にC型肝炎ウイルスにより起こる肝細胞癌という病気は安芸地区で多くみられるという話は聞かれたことがあると思います。この病気の治療は外科手術が一番効果的とされていますが、腫瘍の数や肝臓の機能などの問題から手術が受けられる方は30%前後とされています。手術が受けられない場合は経皮的治療であるラジオ波焼灼術や肝動脈塞栓術になることがほとんどです。カテーテル治療である肝動脈塞栓術は1980年代に日本から始まった治療で今では世界に広まっている治療です。通常外科手術では繰り返すと治療が難しくなりますが、足の付け根の動脈から進めていくカテーテル治療は繰り返して行うことが容易です。カテーテルも現在では非常に細くなり、腫瘍の近くの血管までカテーテルを進めて薬を流すことも可能になってきました。新しい薬剤も出てきており、今後も期待できる治療と考えております。

治療に関しては適応があり治療できる方とそうでない方がおられます。専門医などにご相談されることをお勧めいたします。なおカテーテル治療の詳細が知りたい方は日本IVR学会のホームページ(<http://www.jsivr.jp/>)などをご参照ください。



巨大な肝細胞癌に対して肝動脈塞栓術施行。カテーテルを進めて造影剤を注入し、血管解剖や、腫瘍の状態を把握している。



CTでも腫瘍に薬剤注入されているか確かめる。白い部分が治療後。

放射線科（IVR学会専門医）山西 伴明

○新病院建設現場レポート

去る1月26日、徐々に鉄骨が組みあがっている精神病棟の建設現場を前田院長が視察しました。現場は、1階部分の床のコンクリート打ちが終了しており、少しずつ建物の姿が見えてきています。いくつかご紹介します。



説明を受ける前田院長
(左から2人目)



売店予定地から東
(倉庫やカルテ庫方面)
を望む。左の壁
は病棟エレベータ。



建物は周囲の地盤とは切り離されており、免震装置で支えられています。

現在、7月末の竣工・引き渡しに向け、急ピッチで工事が進んでいます。3月下旬には精神科病室のモデルルームが1F部分に仮設されますので、その時には多くの職員さんに見学いただければと思います。

○イベントのお知らせ（変更）

平成23年度 第3回 ふれあい医療教室

前月号でお伝えした、第3回ふれあい医療教室について、一部変更がありましたのでお知らせします。

日時 平成24年2月25日（土）
13時30分開場 14時開演

場所 安芸市民会館 大ホール
〈座長：高知県立安芸病院
院長 前田 博教〉

テーマ 1. ちょっと気になる子供の話
★落ち着いた子・忘れ物の多い子・
人付き合いの苦手な子★
[高知県立安芸病院 小児科医長
前田 賢人]

2. いきいき女性ライフ ～子宮と卵巣にまつわるお話～

*女性のQOLに関わる「痛み」と「不妊」という問題を抱え、さらに40歳台以上では高率に「卵巣癌」を合併することが解ってきた子宮内膜症と、子宮脱などシニア世代に多い子宮の疾患についてお話しします。

↑ テーマが変更になりました！

[高知大学医学部産婦人科学講座 准教授
前田 長正]

※入場無料ですので、皆様お誘いあわせの
うえ、ぜひご参加ください。

○これでバッチリ～花粉症対策～

『高知の森林（高知県緑の環境会議森林研究会編 高知市分化振興事業団）』によると、高知県は県土に占める森林率が84%（60万ha）と全国第一位です。その内訳は天然林33%に対し人工林67%と人工林率でも全国第一位となっています（30万ha以上の森林県の中で）。いわゆる原生的森林はわずか1.7%にすぎません。人工林の内訳はヒノキ55%、スギ42%であり、ヒノキ人工林面積（22万ha）でも全国の第一位を占めています。

花粉症の主な症状はくしゃみ発作、水性鼻漏、鼻閉、目やのどのかゆみですが、花粉の飛び期間のみ出現することが特徴です。スギ花粉は一般に2月上旬から4月まで飛びとされていますが、高知県は暖かいためか、1月から飛びとされます。また、ヒノキ花粉は、スギ花粉の飛散が下火になる3月中旬から4月下旬まで飛びとされています。スギ花粉とヒノキ花粉はアレルギーの原因となる部分が似ており、スギに過敏性を示す人は、ヒノキに対しても過敏反応を示すことがあります。従って、患者さんによっては1月から4月まで引き続いて強い症状が

続くこととなります。さらに、スギ花粉飛散数が多いときは、生まれて初めてスギ花粉症になる人も多くなることがわかっています。

高知県でも花粉情報が出されています。花粉が飛び始めたら、アレルギー用マスクを着用し、花粉をできるだけ吸い込まないようにすることが大切です。花粉症専用メガネも市販されていますので、使用されるとよいでしょう。さらに、窓を閉めて室内に花粉が入るのを防ぐ、できるだけ外出を控える、外出から帰った時は衣類や髪をはたいてから家に入る、洗濯物をよくはたいて取り込む等の対策が必要です。

一般に患者さんは症状がでてから病院を受診することが多く、症状を抑える治療が中心となります。しかし、一旦強くなった症状は容易には抑えられなくなります。花粉症は花粉の飛び時期がほぼわかっていますので、ヒノキ、スギの人工林が多い高知県では、スギ花粉が飛散する2週間前から薬を開始する予防的投与が効果的です。今年はもう予防的投与には間に合いませんが、来年からは1月後半から耳鼻科を受診されることをお勧めします。

耳鼻咽喉科 西山 正司

○リハビリ教室開催のお知らせ

第12回 リハビリ教室
～今回のテーマ～「肥満改善と予防」

日時 平成24年2月23日（木）
午後2時30分から
場所 県立安芸病院 西館2Fリハビリ室
講師 県立安芸病院 リハビリテーション科
理学療法士 濱窪 隆



入場無料です。たくさんのご参加、お待ちしております。

※ お問い合わせは、安芸病院地域連携室（TEL：0887-35-8107）まで！